

講座のご案内

# TOKYO HUB DOSHISHA UNIVERSITY

<http://doshisha-tokyo-hub.jp/>



同志社講座 in Tokyo 2015 —— 春学期

 同志社大学

# 「グローバル・トレンドを語る」

全5回

講師 村田 晃嗣 同志社大学 法学部教授・同志社大学長

定員: 70名(開講最低人数25人) 受講料5回一括: 12,000円  
時間: 18:30~20:00 受講料各回: 3,000円

村田 晃嗣 むらた こうじ

1964年神戸市生まれ。同志社大学法学部卒。神戸大学大学院法学研究科博士課程修了。1991~95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。1998年神戸大学博士(政治学)。2005年4月同志社大学教授。2013年4月より同志社大学長。専門はアメリカ外交・安全保障。1999年、「大統領の挫折」でサントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞。趣味は観劇・映画鑑賞。著書:「レーガン -いかにして「アメリカの偶像」となったか」(中公新書)など多数。

## ■狙い

周知のように、2015年は戦後70周年に当る。歴史の中で2015年を位置づけた上で、今年のグローバルトレンドを検討する。特に、日本外交の主な課題を取り上げる。各界で活躍するゲストスピーカーも招きたい。



ゲスト 伊奈 久喜 いな ひさよし  
1953年東京都生まれ。早稲田大学卒業後、日本経済新聞社入社。政治部編集委員、論説委員、論説副委員長などを経て、特別編集委員(外交・安全保障担当)。1998年度ボーン・上田記念国際記者賞受賞。同志社大学客員教授(就任予定)



ゲスト 重家 俊範 しげのぶ としのぶ  
1945年広島県生まれ。一橋大学卒業後、外務省入省。官房長官秘書官(後藤田、小渊両長官)、国連日本政府代表部公使、在米国特命全権大使など歴任。07年大韓民国特命全権大使。11年4月~14年3月在任。同年4月より東レ(株)顧問



ゲスト 茶野 純一 ちのわ じゅんいち  
1957年滋賀県生まれ。同志社大学卒。ベンシルベニア大学大学院修士。1982年国際交流基金入社。NY日米センター長、日本研究・知的交流部長、米州総局長などを経て、2014年より日米センター所長。日米文化教育会議(CULCON)日本側委員。同志社大学客員教授

同志社ミニビジネススクール

## 「グローバル時代を読む ～目指すは経済名探偵～」

全5回

講師 浜 矩子 同志社大学 ビジネススクール教授

定員: 15名  
時間: 19:00~20:30 受講料一括のみ: 50,000円

浜 矩子 はま のりこ

一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所所長兼駐在エコノミスト1998年三菱総合研究所主席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」。

近著:老楽国家論:反アベノミクス的生き方のススメ(新潮社)地球経済のまわり方(ちくまプリマ―新書)

## ■狙い

グローバル時代とはどんな時代か。この謎解きに、日々の経済報道や公表データを利用して挑戦してみたいと思います。

受講者の皆さんに経済名探偵になっていたい。それが本講座の狙いです。いかなる場合にも、必ず真犯人を見極められる。本講座を通じて、そのような推理家としての鋭さと辣腕を身に付けていただきたいと思う次第です。

第1回

6/2

火

## イントロダクション

歴史の中の2015年について多角的に考察する。

第2回

6/16

火

## 日本政治と外交

ペテラン・ジャーナリストをゲストに迎えて、安倍政権の諸課題を論じる。

ゲスト

伊奈 久喜氏(日本経済新聞社・特別編集委員)

第3回

6/30

火

## アジアの中の日本

日本と近隣諸国との関係、アジア情勢を中心に論じる。

ゲスト

重家 俊範氏(元在韓国大使)

第4回

7/14

火

## 国際交流の最前線

国際交流のエキスパートをゲストに招き、国際関係の中の文化について議論する。

ゲスト

茶野 純一氏(国際交流基金・日米センター所長)

第5回

7/28

火

## まとめ

国際関係や外交、政治を考える際の重要な視点を改めて整理する。

第1回

5/18

月

第2回

6/15

月

第3回

7/21

火

第4回

8/17

月

第5回

9/14

月

## ■特徴・進め方

毎回の講義では、経済的謎解きに必要な各種の小道具・大道具に着目し、その扱い方について考えます。謎解きの手がかりは、我々が日常的に出会う情報の中に潜んでいます。それらの手がかりはどうつかみ取るか。どうすれば、それらをつかみ取るコツがみえて来るのか。これらのことを会得すべく、新聞報道などを題材に分析と議論を進めます。

各講義で具体的にどのような話題を取り上げるかについては、折々の情勢に応じて決めて行きたいと存じます。時宜性を意識しつつ、経済名探偵にふさわしい道具箱の内容を取り揃えて行く。そんなアプローチを取りたいと考えるところです。

このような構想ですので、各回の講義ごとにここで具体的なテーマを掲げることはいたしません。それは、その都度のお楽しみということにさせて頂きたい次第です。ただ、各講義を通じて、ご受講下さる皆様に身に着けて頂きたいと願う謎解きの「技」は、およそ次のようなものです。

- ◆数字が語る経済物語の読み取り力
- ◆人々が語る経済物語のウソ発見力
- ◆経済情報の中に潜む真相解明力
- ◆常識の中の非常識の見破り力
- ◆今と昔の対比力

このような場合に道具箱の中身が充実してくれば、もはや恐いもの無しです。腕試しの意味で、最終講義では、皆様にそこまでの成果を駆使して頂き、一つの謎の解明に挑んで頂きたいと考えています。なお、既に本講座をご体験頂いている皆様は、どうぞ、リピート受講を通じて謎解き力に一段と磨きをおかけ頂ければと存じます。

皆様、お待ちしております!

# 「中国を読み解く」

全5回

講師 加藤 千洋 同志社大学大学院  
グローバル・スタディーズ研究科教授

定員: 70名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: 12,000円  
時間: 18:30~20:00 受講料各回: 3,000円



加藤 千洋 かとう ちひろ

元朝日新聞編集委員、「報道ステーション」(テレビ朝日系)コメンテーター。北京特派員時代は、中国報道で国際報道に貢献したジャーナリストを表彰するボーン・上田記念国際記者賞受賞。著書に『胡同の記憶—北京夢華録』『北京&東京 報道をコラムで』ほか。

## ■ 独い

めざましい経済発展を続けてきた中国ですが、どうやら急成長にブレーキがかかって始めたようです。気がつけば目の前にさまざまな課題も山積しています。都市部と農村部の経済格差、生態環境の悪化やエネルギー危機、チベットやウイグルなどの民族問題、少子高齢化による人口構成の歪み…。いま、とても気になるのは、急成長の陰で生じた矛盾や歪みを抱えつつ、低成長時代に突入する中国の行方がどうなるかでしょう。本講座では中国社会が直面する問題群を、5つの視点から読み解いていきたいと思います。

第1回  
5/22  
金

## 「公民」から読み解く中国

憲法が保障する諸権利の実現を平和的手段で求める「新公民運動」が中国政府から警戒され、指導者の拘束も続く。「共産党」と「公民」の関係から中国社会の変化を読み解く。

第2回  
6/5  
金

## 「水」から読み解く中国

PM2.5で汚れた北京の空が有名になったが、その大気汚染以上に深刻な中国の環境問題は実は「水」である。「中華文明の母なる河」とされる悠久の黄河に、その実態を見る。

第3回  
6/19  
金

## 「民族」から読み解く中国

大陸周縁部に集住するウイグル族やチベット族らの居住地域で近年テロ事件が頻発する。社会の安定確保と経済発展の持続を目指す中国にとりアキレス腱ともいえる民族問題を考える。

第4回  
7/3  
金

## 「人口」から読み解く中国

実施から35年が経過した「一人子政策」が曲がり角にある。若くて豊富な労働力が有り余る時代は去った。急速な老齢化が経済発展の持続にも影響を落とし始めた中国の現状は。

第5回  
7/17  
金

## 「メディア」から読み解く中国

一党独裁体制の維持のためにも中国政府はメディアの統制・管理を緩めない。だがネットメディアの普及で、人民も下から声を上げ始めた。メディアから中国社会の変化をさぐる。

# 「30代からはじめる アンチエイジング」

全5回

講師 米井 嘉一 同志社大学 生命医科学部教授

定員: 70名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: 12,000円  
時間: 18:30~20:00 受講料各回: 3,000円



米井 嘉一 よねい よしかず

1958年生まれ。1982年慶應義塾大学医学部卒。2005年より同志社大学アンチエイジングリサーチセンター教授、現在に至る。日本抗加齢医学会理事としてアンチエイジングの研究と普及に努める。近年では糖化ストレス研究に重点を置いている。

## ■ 独い

身体は様々な細胞・組織・器官から構成され、加齢に伴い30代より退行性変化が生じる。老化の仕方は人それぞれ。神経、血管、骨、筋肉、どこの機能が低下するかは個々により異なる。酸化ストレス、糖化ストレス、心身ストレスといった老化危険因子も人それぞれである。老化の仕組みを知り、弱点を早期に見つけ全体のバランスを図る方法を学ぶ。

第1回  
5/8  
金

## アンチエイジングとは何か?

身体の老化は筋、血管、神経、骨、ホルモンの機能年齢で評価する。機能年齢は何故衰えるかを知り、予防法を考える。アンチエイジングとは機能年齢の老化予防・若返りである。

第2回  
6/12  
金

## 若者にも必要なアンチエイジング

幼児期の食生活が将来に及ぼす影響、小児に増えている生活習慣病、30代から低下する生殖機能といった問題を探り、アンチエイジングで健康的な成長・成熟を目指す。

第3回  
7/10  
金

## アンチエイジングでメタボを減らせ

内臓脂肪が貯まり糖化ストレスが強いメタボは血管老化（動脈硬化）の危険因子である。筋肉不足、ホルモン不足、ストレス過剰? あなたに適したメタボ予防対策を考える。

第4回  
8/7  
金

## アンチエイジングでロコモを減らせ

ロコモとは運動器機能の低下状態。筋肉老化（サルコペニア）、骨老化（骨粗鬆症）、関節の老化（変形性関節炎）、さらには神経機能の低下が加わる。ロコモ知らずの身体を創ろう。

第5回  
9/11  
金

## 病は気から、若さも気から

何時までも若く美しく生きるために重要なことは動機づけと行動変容である。神経は使わないでいると鈍ってしまう。アンチエイジングで「Happy Aging!」を目指そう。

